花づくりで笑顔になる

私たちは、生活の豊かさを求めて経済効果を優先する反面、ゆとりや人と人との結びつきなどを失いかけています。そうした中、安心安全な食材づくり、花を利用したまちづくりなど、心の豊かさをあらためて見つめ直す「スローライフ」活動が注目されています。

北区では、この活動を進めるため「北区スローライフ宣言」を行い、スローライフなまちづくりを区民の皆さんに提案しています。今月は、「花づくり」を通して、癒やしとやすらぎの空間を演出し、生き生きと暮らす人たちを紹介します。また、今回は、自らの庭をオープンガーデンとして開放し、地域との交流を深めている瀬戸均さんに同行取材をお願いしました。

毎年6月初旬になると、瀬戸さんの庭の中央に堂々と咲き誇る、樹齢約40年のフジの花

今回同行取材をお願いした

瀬戸　均さん

7年前からガーデニングを始め、自宅の庭をオープンガーデンとして広く開放。通り過ぎる人の中には、その見事な庭に足を止め、ゆったりとした時間を楽しむ人もいるそうです。

花を通した出会い

「花の配色が素晴らしいですね」と同行記者の瀬戸さん。昨夜の雨にぬれている花壇に並ぶ赤、白、黄などのかわいらしい小さなマツバボタンやペチュニアなどを見つめながらこう話し掛けます。「あり

山本喜代さん

色鮮やかな花が咲き並ぶ花壇づくりを楽しむ

梅内富子さん

庭づくりを通して、自分自身が癒やされることを実感

佐藤源治さん

鉢植えを中心にオリジナルの工夫を凝らし、美しい庭を演出